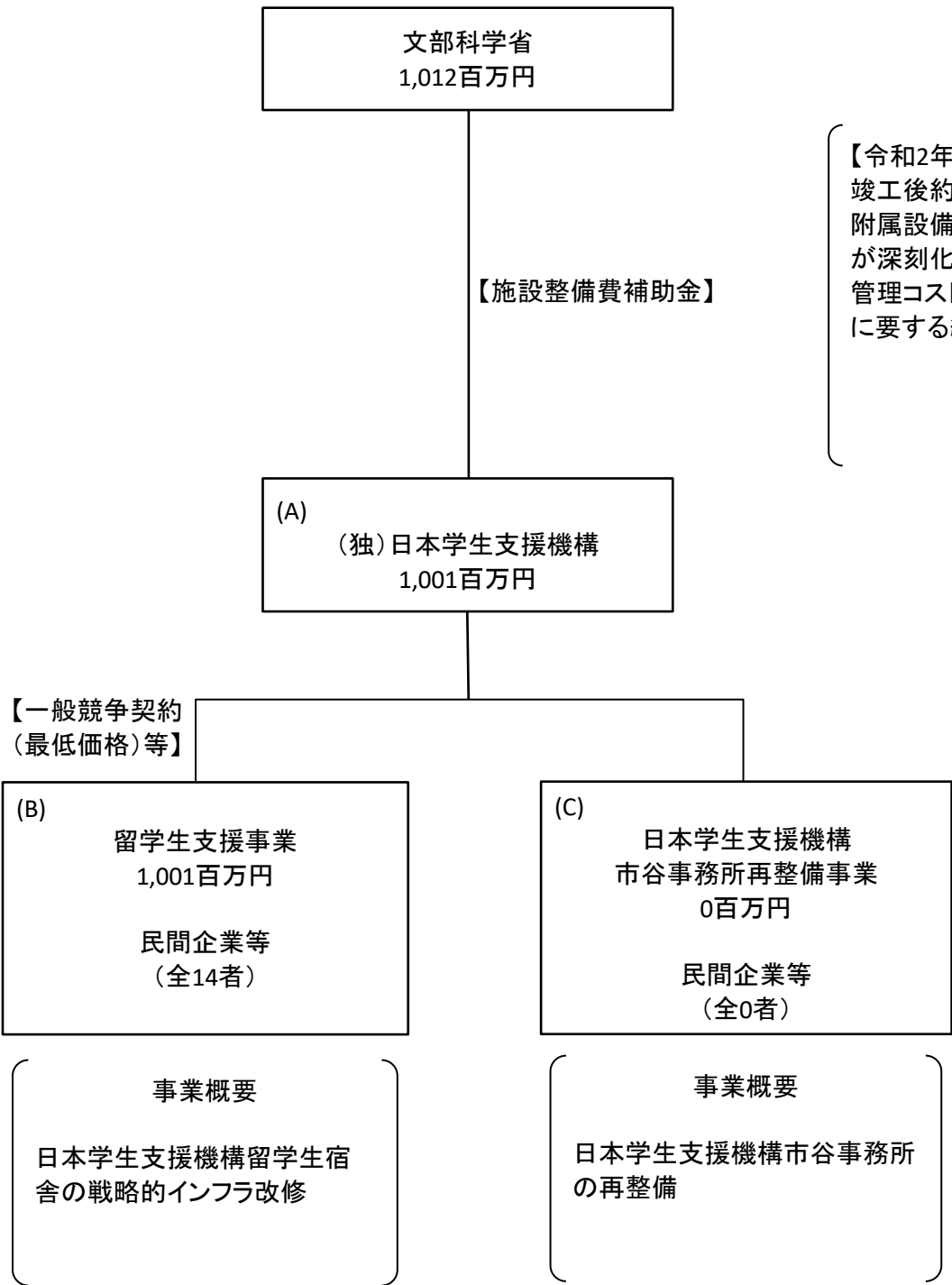


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	独立行政法人日本学生支援機構施設整備に必要な経費			担当部局庁	高等教育局		作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当) 学生支援課		課長 吉田 光成
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	安心と成長の未来を拓く総合経済対策(令和元年12月5日 閣議決定) 国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策(令和2年12月5日)		
政策	政策目標13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	育英事業費		
施策	政策目標13-1 国際交流の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	独立行政法人日本学生支援機構が行う施設の整備に要する経費に対して補助を行い、もって次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成に資するとともに、国際相互理解の増進に寄与することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	・市谷事務所については、昭和39年の竣工から60年近くが経過し、老朽化及び狭隘化が著しい状況である。耐震性能改善をはじめとした老朽化対策工事等や事業規模の拡大に伴う狭隘化を解消するための増築工事を実施することで、施設の耐震対策や防災機能強化を図る必要がある。 ・留学生宿舎については、附属設備が法定耐用年数超過の状況にあるなど、機能劣化が深刻化しており、維持管理コストの増への効果的な対応が喫緊の課題である。						
事業概要 (5行程度以内)	独立行政法人日本学生支援機構の施設の整備を推進し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成に資するとともに、国際相互理解の増進に寄与する。 ・竣工後60年近く経過して老朽化、狭隘化が深刻化している機構市谷事務所について、老朽化対策等の必要な工事を行う。 ・令和元年10月12日の大風19号で被災した独立行政法人日本学生支援機構の東京国際交流館の災害復旧(令和2年完了)及び、竣工後約20年を経過した同施設のインフラ設備を整備する。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	415	102	1,258
		補正予算(B)	597	-	5,350	1,258	
		令和5年度第1次補正予算				1,258	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	36	597	597	5,350	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 597	▲ 597	▲ 5,350		
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	36	-	1,012	6,710	1,258	
	執行額(G)		34		1,001		
	執行率(%) =(G)/(F)		94%	-	99%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		6%	-	17%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	育英費			重要政策推進枠 1,066百万円		
	(目)	独立行政法人日本学生支援機構施設整備補助金		1,066			
	(目)	政府関係補助独立行政法人日本学生支援機構施設整備補助金	102	192			
		その他					
	計(A)		102	1,258			

活動内容① (アクティビティ)		老朽化、狹隘化が深刻化している市谷事務所等の整備について、業務継続性と安全性の確保、業務効率の向上等の観点を踏まえた計画を具現化し、必要な環境整備を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		必要な設備整備を適切に行うことにより、安全性及び業務効率を向上させる。	インフラ設備の整備に着手した施設数	活動実績	件	－	－	1	1	－
				当初見込み	件	－	－	1	1	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	設備の整備に着手した施設が完了することで、市谷事務所の再整備が完了するため、整備完了した施設数を長期アウトカムに設定する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		市谷事務所の再整備を行う。	整備完了した施設数	成果実績	件	－	－	－	－	
				目標値	件	－	－	－	1	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本学生支援機構からの実績報告に基づく。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		令和5年度で本事業の終了を予定しているため。								
活動内容② (アクティビティ)		安全性の向上や省エネルギーの推進等を目的とした修繕等を行い、必要な設備整備を適切に行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		必要な設備整備を適切に行うことにより、安全性を向上させる。	インフラ設備の整備に着手した施設数	活動実績	件	2	2	2	－	－
				当初見込み	件	2	2	2	2	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	設備の整備に着手した施設が完了することで、留学生宿舍のインフラ設備の整備が完了するため、整備完了した施設数を長期アウトカムに設定する。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		留学生宿舍のインフラ設備の整備を行う。	整備完了した施設数	成果実績	件	－	1	1	－	
				目標値	件	2	2	2	2	
				達成度	%	－	50	50	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本学生支援機構からの実績報告に基づく。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		令和5年度で本事業の終了を予定しているため。								

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



【令和2年度補正予算】
竣工後約20年が経過した日本学生支援機構留学生宿舎は、附属設備が法定耐用年数超過の状況にあるなど、機能劣化が深刻化しているため、施設の長寿命化を図り、今後の維持管理コストを低減させる目的で実施するインフラ設備の整備に要する経費に対して補助を行う。

○令和2年度→令和3年度への繰越
令和2年度第3次補正予算による当補助金は、令和3年2月5日に交付決定がなされていることもあり、会計年度内に補助事業が完了することができず、次年度に繰り越した。

○令和3年度→令和4年度への繰越
新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、部品輸入の滞りによる機器納期の遅延が発生し、事業計画の変更を行う必要が生じたため、会計年度内に補助事業が完了することができず、次年度に繰り越した。補助事業が完了することができず、次年度に繰り越した。令和4年8月末完了予定。

○令和4年度→令和5年度への繰越
市谷事務所の再整備は、敷地の平均地盤高さの見直しにおいて、特定行政庁との協議に時間を要し、工事工程の見直しにより不足の日数を要することとなったことから、事業計画の変更を行う必要が生じ、次年度に繰り越した。

費目・使途 (「資金の流れ」においてブ ロックごとに最大の金額が 支出されている者について 記載する。費目と使途の双 方で実情が分かるように記 載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	施設整備費補助金	留学生宿舎に係る施設整備費	1,001	施設整備費	留学生宿舎に係る施設整備費	1,001
	計		1,001	計		1,001
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

